

令和5年度 天理幼稚園 学校評価 <教職員用>

令和5年度 天理幼稚園運営計画				A：よくできている B：ほぼできている C：あまりできていない D：ほとんどできてない		
	重点目標	評 価 項 目		評 価	成果と課題	
教 育 目 標・ 教 育 計 画	幼稚園の教育方針、教育目標を明らかにし、望ましい幼児の姿を明確にする	1	教育目標及び重点目標を全教職員が理解している	A	○教祖 140 年祭三年千日の旬に子どもたちに信仰の喜びを伝えていこうと、心新たにし、新年度を迎えた。 年度初めに園長より教育目標・重点目標についての説明を受け、共通理解をした。毎月の学年会議において指導計画をもとに到達点と反省点を担任が報告し、課題、改善面について園長主任とともに考え、翌月の指導計画に活かすよう努めた。 ○日々の保育の中で大切にしていることと就学直前に意識していることを厳選してまとめ、読みやすい紙面となるようアプローチカリキュラムの書式を見直した。	
		2	教育課程は教育要領を踏まえ、園長を中心とし教職員と協力し合って編成している	A		
		3	年間の指導計画について各学年及び園としてよく話し合いをし、実施している	A		
		4	教育目標の実現を目指し、信条教育の指導方針を設定している	A		
		5	幼児の実態に合わせた教育内容を精選している	A		
		6	今年度の重点目標を理解し、達成できるよう努力している	A		
教 育 内 容	全て親神様のお恵みの中で生かされていることを知り感謝の気持ちをもつ	7	私達の身体は親神様からお借りしていることを知り、元気であることを喜び、感謝する心を育てている	A	○昇殿参拝時に、元気な体をお借りしていることに気づけるような話をし、感謝の気持ちがもてるよう努めた。子どもたちは、欠席する友達のことを気にかけ、神様をお願いする姿が多く見られた。また、子どもの怪我や発熱時には、園長をはじめ各教職員がおさづけを取り次ぎ、近くに居合わせた子どもは添い願いをすることができた。 ○おつとめの鳴り物に関心の強い年中児を中心に、主体的に鳴り物の稽古に取り組む姿があった。 ○遊んだ物の片づけや制作の材料の使い方などについて丁寧に指導してきているものの、まだまだ身につけにくい姿がある。すべてのものは親神様のお恵みによってお与えいただいていることを感じられるよう、時間をかけて繰り返し伝えていきたい。 ○友達と一緒に協同して遊ぶ機会を大切にしてきた。自分だけでなく友達にも思いがあることを知り、友達の気持ちを考えられるよう、発達に応じた援助をしてきたことで、協力して遊びを進めようとする姿が見られた。 ○バツヤやトンボなどの虫捕りを楽しむ子が多く、昆虫や小動物へ関心を示すものの、扱いが雑な姿があり、その都度話をしたり考え合う機会をもったりしてきた。飼育活動を通じて少しずつ大切に扱うようになった。	
		8	一手一つに助け合う心を育てている	A		
		9	自然や物を大切にする心を育てている	B		
	主体的に環境に関わり、一人ひとりが自己発揮し、友達と力を合わせて園生活を楽しむ	10	幼児が体を動かす楽しさを味わい、自分の体を大切にしようとする気持ちが育つよう援助している	A	○からだづくりの重要性を確認し合い、楽しみながら運動遊びを積み重ねられる工夫に努めた。天候の良い日には戸外で思いきり体を動かして遊び、さまざまな活動に挑戦する中で自信をつける様子が見られた。ルールのある遊びでは、気持ちの折り合いをつけることの必要性にぶつかり、悔しさや悲しさなどの感情体験もできた。 ○基本的生活習慣が身に付くように、家庭と連携を図りながら一人ひとりの様子に応じて、自分でできた喜びや達成感が味わえるよう援助してきた。 ○年間通して異年齢との関わりの機会を計画的に行ってきたことで、互いに思いやり、交流を深めることができた。年長児は年長者としての自覚をもち、年下の子に気を配ろうとする姿があった。 ○天理高校生、専修科生や少年会の方との交流、さまざまな実習生の受け入れなどをし、一緒に遊ぶ機会を設けてきた。さまざまな人と関わりから、優しさや思いやりの心を感じるすることができた。	
		11	衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な習慣を身につけ自分のことは自分でしようとするよう援助している	A		
		12	身近な人に親しみをもち関わりを深め、一緒に活動する楽しさが味わえるよう援助している	A		
		13	自分なりの思いを表出するとともに相手の思いや考えに気付き受け入れられるよう援助している	A		
	研究・ 研修	園内研修を計画的に実施すると共に園外研修に積極的に参加し、教職員の資質を高める	14	外部講師による講義や公開保育の実施など計画的な園内研修を行い、教師の資質向上に努めている	A	○園内公開保育を行い、幼児教育理解発展推進事業の文科省から出される協議主題に基づき、教師間で協議を深めた。今年度も、奈良県障害者総合支援センター作業療法士に訪問いただき、カンファレンスを含む研修を行った。また対応に悩むケースの解決策として天理大学人間学部教授を講師に招き、解決志向カンファレンス研修を実施した。リトミック研究センター講師を招き、リトミック遊びの実技研修を行った。 ○週に 1 回、子どもの遊びを記録したものをもとに「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」を考え、一人ひとりの育ちについての意見交換することによって子どもの育ちを見取る力がついてきた。 ○施設訪問研修で、管内の先生方に幼稚園の様子や子ども達の姿を見ていただいた。今後も幼稚園教育の大切さを伝えていくことができるよう、伝える力や説明する力をさらに付けていきたい。
			15	子どもの遊びの様子をエピソード記録にまとめ、幼児の成長や学びについて教員間で振り返りをする機会をもち、一人ひとりの理解に努めている	A	
特 別 支 援 教 育	配慮を必要とする子の実態を理解し、その子に応じた指導、援助を行う	16	配慮を要する幼児の課題と支援方法について保護者の思いを受け止め園内でよく話し合うとともに関係機関との連携を深め支援にあたっている	A	○朝礼時、保育後、連絡会などで気になる子どもの姿や特別な支援について報告し、学年会議の中で課題と手立てについて話し合い、共通理解して対応できるように努めた。教育心理相談室心理士による巡回相談での助言を手立ての参考とするとともに、各療育施設に同行したり、県リハビリテーションセンターなどの医療機関と交流を図ったりして情報交換に努め支援に活かした。また、学校医と連携をとり、療育を必要とする子どもの診察の協力をいただいた。さらに必要に応じて保護者との面談を行い、思いに寄り添いながら、同じ方向を向いて子どもを支えていけるよう努めた。今後も、保護者、専門機関、小学校などとの連携に努め、配慮を要する子どものより良い支援に努めたい。	
組 織	組織の中の一人としての自覚を持つと共に教職員間の協力体制を築く	17	担任が抱える問題を組織的に取り組む体制を整えている	A	○各クラスの実態について常に報告することにより担任が抱える問題や課題をチームで考えることができるよう努めた。また、子ども一人ひとりの姿について担任がまとめたものを全教員で共有し、細やかな援助ができるようにした。 ○職員会議において、学年会議で出た課題や改善点の中からテーマを1つ絞って、全体で話し合う時間を設けた。担任一人ではうまくいかなかったり悩んだりしていることに焦点を当て、他の教員のこれまでの実践やアイデアを共有している。	
		18	各分掌、各学年の連携を十分にとっている	A		
		19	全園児について共通理解をもち、発達に応じたきめ細かい指導、援助をしている	A		
保 護 者 と の 連 携	保護者との連携を大切にし、信頼関係を築く	20	教育方針、目標、計画などを保護者にわかりやすく明示している	A	○子どもの姿から必要に応じて懇談の日を設けたり教師側から声をかけたりして、保護者の思いを受け止め、子育てについて共に考えあう機会をもった。今後も、家庭で支えられているからこそ幼稚園に通えていることを念頭に置き、一緒に子育てをしていけるよう努めていきたい。 ○職員会議や全教員対象の研修日にも預かり保育を実施できるように努めた。また、幼児教育・保育無償化制度新 2 号認定者を対象に期間限定で夏休み中の預かり保育を実施した。実施期間や保育時間、暑さ対策や担当者の数など、長期休暇中の預かり保育を実施してみたからこそ分かった課題がある。これらの課題について教職員で相談を重ね、改善していきたい。 ○コロナ禍に中断していた育友会活動や園行事について育友会と相談し、今年度の行事や活動の進め方などについて再考した。	
		21	園の教育活動や園全般の情報を保護者へ提供している	A		
		22	子育ての悩みや相談を受けられるような場や時間を確保している	A		
		23	保護者からの要望や苦情に適切に対応できるよう努めている	B		
安 全 管 理 ・ 保 健	幼児の安全や保健・衛生管理について、体制やシステムを周知徹底する	24	安全・健康な生活に必要な習慣や態度の育成をしている	A	○安全教育・防災に関する年間計画、危機管理マニュアルを見直し改善した。 ○気温の高い日には、毎日暑さ指数を測り、戸外遊びの可否をホワイトボードに表示して子どもたちにもわかりやすく知らせた。また、定期的に給水するよう声をかけたり、運動遊びの間に休憩時間を設けたりして熱中症対策を講じた。 ○感染対策を実施しながらも幼稚園での歯磨き指導やうがいの再開など少しずつ従来の生活に戻した。コロナ禍に流行しなかったインフルエンザやアデノウイルス感染症などの罹患者が増えたことを踏まえ、保健だよりを発行し、保護者へ病気の特徴や出席停止期間の目安などを知らせた。 ○健康管理室の看護師に協力いただき、年長児向けに歯磨き教室を実施した。 ○バス置き去り防止装置を設置した。バスに置き去りになることの恐ろしさを子どもたちに伝えるとともに、置き去り事案を想定した訓練を行った。これからも乗車人数確認や乗車降車の際の安全点検も怠らずに続けていきたい。	
		25	衛生指導の徹底と保護者に保健や衛生の情報を提供している	A		
		26	安全教育・防災に関する年間計画、危機管理マニュアルの共通理解を図っている	A		
施設・ 設 備	施設・設備の環境整備、整理整頓を行う	27	園舎、園庭、保育室の環境整備、整理整頓している	B	○日常的に安全点検をすると共に毎学期ごとに安全チェックリストに沿って点検を行っている。今年度は、年少園舎前の通路の床板修理、ゆり組・すみれテラスの床板修理、まつ組テラス側の鍵の取り換え、すみれ組廊下入り口扉の鍵の修理、火災報知機から受信機までの電線工事、トイレの詰まり修理、上水道管の修理、砂場横ミニハウスの補修を行った。また、教職員みんなでウサギ小屋の修理を行った。今後も使った物は使い終わったら元通りに片づけることなど、各教員が園内や園庭、保育室の整理整頓をさらに心掛け、施設設備の安全点検を行い、子どもたちが安心して遊べる環境づくりに努める。	
		28	施設、設備について日常的に安全点検をしている	B		
		29	省エネルギーへの配慮を心がけている	A		
		30	備品や教材、用具、材料を適切に活用している	A		